

合併10周年、新中計始動へ

来月、合併誕生から10周年の節目を迎えるイーグルスミコーポレーション。2016年1月から新たな5カ年中期経営計画を始動し、「海外ビジネスの拡大、国内では塗料・インキ材料分野の一層の強化に取り組み(住吉徹社長。構造変化の進む国内化学業界および中国などアジア市場への対応を基本方針とし、国内外でビジネスチャンスを捉える。また「事業の川下展開を本格化する」考えで、最

イーグルスミコーポレーション

終製品やそれに近い分野に参入し付加価値を高めた事業を展開していく。

同社はアジアを一つの市場と捉え、海外ネットワークの構築を進めている。上海、韓国に続いて昨年12月、香港に現地法人を立ち上げており、今年是中国・厦門に合併会社を設立。アジア市場の開拓に向けて体制を整えてきた。

合併会社では合併パートナーの現地商社の販路を活用し、川下分野で事業を展

開する。「これまでの川上分野での原料供給から、より付加価値が求められる川中、川下分野にまで事業を拡大する」とし、ノウハウのある塗料分野から取り掛かる方針。

またASEAN(東南アジア諸国連合)市場で電子材料事業を強化する。自動車やスマートフォン向けなど成長市場にも積極的に人材を投入していく。

一方、国内では強みを持つ塗料・インキ材料分野を

さらに強化する。「引き続き海外サブライヤーを開拓し、特色ある商材のラインアップに努める」。国内の新規分野ではヘルスケア関連をターゲットとし、薬剤師も採用した。医薬中間体などを取り扱うほか、M&A(合併・買収)によって医薬品製造事業への参入も視野に入れる。「市場ニーズに対応し、ビジネスの多角化を進める」ことで需要を掘り起こす。